

まほろば秦野通信

令和2年10月27日

タイトル	市民の生活を支える公共交通事業者を支援 地域公共交通運行継続等支援決定報告式を実施
When (いつ)	10月28日(水) ①午後2時～2時半 ②午後3時～3時半
Where (どこで)	市役所本庁舎3階 3A会議室
Who (だれが)	①【地域公共交通運行継続等支援決定報告式】 <支援先(バス事業者)> 神奈川中央交通(株)取締役社長 堀 康紀(ほり やすのり)、取締役専務執行役員 金子 茂浩(かねこ しげひろ) <支援者(秦野市・中井町・二宮町・大磯町広域公共交通連絡会)> 秦野市長 高橋 昌和(たかはしまさかず)、中井町長 杉山 祐一(すぎやま ゆういち)、二宮町長 村田 邦子(むらた くにこ)、大磯町長 中崎 久雄(なかさき ひさお) ②【秦野市地域公共交通運行継続等支援決定報告式】 <支援先(タクシー事業者)> (株)愛鶴代表取締役社長 飯田 隆明(いいだ たかあき)・秦野交通(株)代表取締役社長 佐藤 彰洋(さとう あきひろ)・相模個人タクシー協同組合理事長 石綿 文夫(いしわた ふみお)・県央個人タクシー協同組合理事長代理 堀江 義一(ほりえ よしかず)
What (なにを)	交通事業者は、市民のなくてはならない生活の足として、生活を支えています。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で、利用者数が大幅に減少し、収益の確保などが厳しい状況です。そこで、市内交通事業者に対して支援金を交付し、支援決定報告式を実施するものです。
How (どのように)	交通事業者のうち、バス事業者への支援については、1市3町で構成される「秦野市・中井町・二宮町・大磯町広域公共交通連絡会」とし、連携をして支援を行うものです。また、コミュニティタクシー、タクシー、個人タクシーへの支援については、秦野市独自の支援となります。
How much (予算)	バス事業者：連絡会域内を運行するバス車両1台あたり10万円 コミュニティタクシー事業者：事業者が有する車両1台あたり10万円 タクシー事業者：事業者が有する車両1台あたり5万円 個人タクシー事業者：1者あたり5万円
今後の取り組み	今後も社会情勢を踏まえながら、可能な支援策を検討していきます。
過去の実績	5月28日に市内小田急線4駅、路線バス、コミュニティタクシー、タクシー、個人タクシーの各事業者へマスクの現物支給を実施。
問い合わせ	交通住宅課 公共交通担当 担当：山岸 電話：0463-82-9644(直通)